

### 三回目(発音3 - 完)

#### 3. アクセントの位置

アクセントの位置は「下から2番目の音節の上」が原則ですが、これについても例外が多いのでひとつひとつ覚えていかねばなりません。

正しく発音し、正しくアクセントをおけば貴方のイタリア語は100%通じます。

(1) 最も多く、そしてイタリア語らしく聞こえるのは語尾から2番目の音節にアクセントのある

単語です。2番目の母音の上ではなく、例えばciaのように ia と母音が続いてi にもa にもアクセントがない場合はこれはひとつの音節とみなします。(例:Francia フランチャ フランス)

libro	リブ <sup>ロ</sup>	本	amico	アミ <sup>ー</sup> コ	友人
cane	カー <sup>ネ</sup>	犬	gelato	ジ <sup>ェ</sup> ラート	アイスクリーム
casa	カー <sup>サ</sup> (ザ')	家	bambino	バン <sup>ビ</sup> ーノ	子供
parco	パ <sup>ル</sup> コ	公園	giardino	ジ <sup>ャ</sup> ルディーノ	庭
italiano	イタ <sup>リ</sup> ア <sup>ー</sup> ノ	イタリア人	giapponese	ジ <sup>ャ</sup> ッポネ <sup>ー</sup> セ'	日本人
spaghetti	スパ <sup>ゲ</sup> ッティ		stazione	スタ <sup>ツ</sup> ィオーネ	駅
studente	スト <sup>ウ</sup> デ <sup>ン</sup> テ	学生	cantare	カン <sup>タ</sup> ーレ	歌う

(2) 語尾から3番目の音節にアクセントのある単語も多くあります。これは覚えてしまうしかありません。

asparago	アスパ <sup>ー</sup> ラゴ'	アスパラガス	vigile	ヴィ <sup>ー</sup> ジレ	警官
medico	メ <sup>ー</sup> ティコ	医者	forbici	フォル <sup>ビ</sup> チ	ハサミ
camera	カー <sup>メ</sup> ラ	部屋	giudice	ジ <sup>ウ</sup> ディチェ	裁判官
cupola	クー <sup>ポ</sup> ラ	丸天井	subito	ス <sup>ー</sup> ビト	直ぐに
Napoli	ナー <sup>ポ</sup> リ		Genova	ジ <sup>ェ</sup> ノヴァ	
Empoli	エン <sup>ポ</sup> リ		Rimini	リー <sup>ミ</sup> ニ	

(3) 最後の音節にアクセントがある単語。これは通常アクセント符号がつきます

caffè	カフ <sup>ヱ</sup>	コーヒー	città	チ <sup>ツ</sup> タ	町
perché	ペ <sup>ル</sup> ケ	なぜなら	perciò	ペ <sup>ル</sup> チョ	だから
lunedì	ルネ <sup>ティ</sup>	月曜	cioè	チョ <sup>オ</sup> エ	つまり
nazionalità	ナツィオナリ <sup>タ</sup>	国籍	giovedì	ジョ <sup>ウ</sup> エ <sup>ティ</sup>	木曜

尚、下記の単語はアクセント符号がつく場合とつかない場合では意味が違います。

アクセントに注意して発音しましょう。

アクセントがある音は特に強く発音しましょう。

アクセントがある場合		アクセントがない場合	
<b>è</b>	～です(動詞三単現)	<b>e</b>	そして
<b>né</b>	～も～もない	<b>ne</b>	それについて
<b>tè</b>	茶	<b>te</b>	君を
<b>dà</b>	与える(動詞)	<b>da</b>	～から(前置詞)
<b>là</b>	そこに	<b>la</b>	その、彼女を
<b>sé</b>	自ら	<b>se</b>	もし
<b>sì</b>	ハイ	<b>si</b>	自らを
<b>dì</b>	言え(動詞)	<b>di</b>	～の(前置詞)

\* アクセントが置かれた音節の母音は、通常長音(長く伸ばす)となります。

一方、下記の場合はアクセントが置かれていても短音です。

二重子音の直前にアクセントがある場合

例) spaghetti, cavallo, macchina

異なった二つの子音の前にアクセントがある場合

例) albero, ospite, scherzo

最後の母音にアクセントがある場合

例) lunedì, caffè, nazionalità